

-----8月1日-----

## ※ 今週のアウトルック(8/1~8/5)

先週は、円高が一段進んだ週となりました。正確には円高というより、ドル売りが止まらない状態ですが、8/2の米債務上限引き上げ交渉の期限に向け、緊張感が増しているようです。先週前半までは、緊迫の中にも楽観視されていた状況でしたが、週末には、「デフォルトもありうるかもしれない」という見方に変わっているようです。

今週前半は、8/2の米債務上限引き上げ交渉の期限を睨んでの動き、後半は米国雇用統計を睨んでの動きと、全く気を抜けない週となりそうです。

ドル円は、週末に77円を割り込んで終了しています。米国議会に劇的な変化がない限り、戦後最安値更新は時間の問題と考えた方が良くもありません。頼みの日銀介入もあまり期待しな方が良いでしょうと思います。

また、8/1からFXのレバレッジ規制が50倍から25倍に引き上げられたため、この影響も大きいと思います。ドル円のロングポジションを持つ個人投資家が減るばかりか、先週以前に80円あたりでロングポジションを持った個人投資家のレバレッジが、かなりきつくなっているように思います。76円あたりからストップロスとロスカットを巻き込んで、円高に拍車をかけることも予想されます。

米国債デフォルトが起きた場合、70円割れも想定する必要があるように思います。

ドル円の予想レンジは77円から81円です。

ユーロは、ドル売りからのユーロドル上昇は、ある程度は考えられるものの、ソブリン債リスクからドルの受け皿としてリミットは、あまり高くないように思います。円高の影響がより強く、ドル円の状況によっては、110円割れも警戒する必要があるように思います。

ユーロ円の予想レンジは109円から113円です。

ポンドは、ドルに対しては上昇するものの、円に対しては売られる状況はまだ続きそうです。ドル円の状況によっては125円割れも想定する必要があるかもしれません。

ポンド円の予想レンジは121円から128円です。

今週は、米国債デフォルトが起きた場合、大きく円高が進むことも考えられます。また、米国議会が承認した場合の、一気に起きる買い戻しの波も大きいように思います。ポジションは、突然の大きな乱高下にも対応できる枚数に抑える必要があるかもしれません。

**\*免責事項\***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。